

なかとんべつ 町議会だより

Volume

218

令和4年4月25日発行

4月4日
認定こども園入園式



4月8日
小学校入学式

4月7日
中学校入学式



第1回定例会議決結果の一覧	3
私たちの一般質問	4
いきいきふるさと常任委員会報告・	
全員協議会	9
議案審議のあらまし	10
令和4年度予算の内容	12
予算審査特別委員会	14
第1回臨時会結果	15
議員の活動実績・議会の動き・あとかき	16

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により規模が縮小となった入園式、入学式の様子

子どもたちへの感染が拡大しましたが、無事に入園式、入学式を迎えられました。



令和4年第1回定例会が、3月14日から17日まで4日間の会期で開かれました。

新型コロナウイルス感染対策を万全にした中での開催となり、招集日の3月14日には、町長の行政報告2点（路線バス「天北宗谷岬線」の今後、新型コロナウイルス感染症対策）が報告されました。教育長の教育行政報告（新型コロナウイルス感染の経過）に続いて、条例の一部改正及び廃止、辺地計画の変更、第8期総合計画、令和3年度補正予算など、14議案を原案どおり可決し散会しました。

3月15日には、小林町長が令和4年度町政執行方針、相座教育長が令和4年度教育行政執行方針を表明、一般質問を通じて6名の議員が町長、教育長の所信を質（ただ）しました。

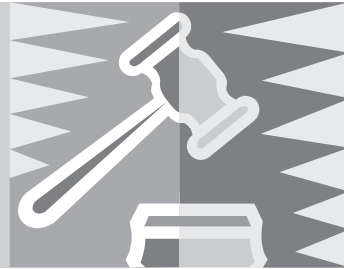
本会議休会中の3月16日～17日に令和4年度各会計予算案を全議員で構成する「予算審査特別委員会」（星川三喜男委員長）で審査。委員会審査を経て、再開された本会議で全8会計予算を原案どおり可決、全日程が終了し3月17日に閉会しました。

令和4年 第1回 定例会

- ① 災害避難時におけるペットの救護対策 (細谷議員)
- ② 危険廃屋解体撤去助成の見直し (東海林議員)
- ③ 除排雪 (高橋議員)
- ④ 介護サポート (宮崎議員)
- ⑤ 新たに設置予定の学校 (長谷川議員)
- ⑥ 第6波の到来と感染対策 (星川議員)
- ⑦ 職員数の大幅な増加
- ⑧ 第8期総合計画
- ⑨ 社会教育
- ⑩ コミュニティスクール
- ⑪ 町長の任期中
- ⑫ 認定こども園の園庭整備

について6議員が一般質問

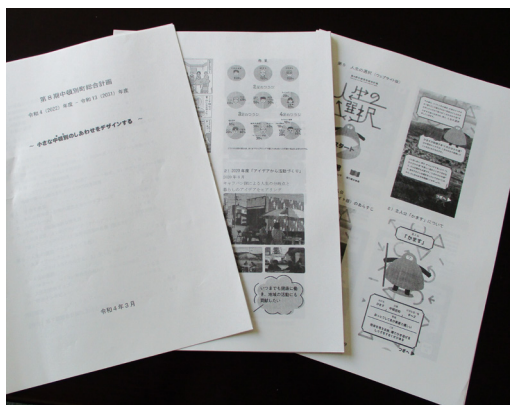
第1回定例会で 決まりました



議決結果の一覧

- 議案第2号 職員定数条例（一部改正）
- 議案第3号 奨学金等償還支援条例（一部改正）
- 議案第4号 職員の服務の宣誓に関する条例（一部改正）
- 議案第5号 職員給与条例（一部改正）
- 議案第6号 議会の議員報酬額及び費用弁償並びにその支給に関する条例（一部改正）
- 議案第7号 放課後等デイサービス事業所設置条例（廃止）
- 議案第8号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
- 議案第9号 第8期総合計画を定めること
- 議案第10号 令和3年度一般会計補正予算
- 議案第11号 令和3年度自動車学校事業特別会計補正予算
- 議案第12号 令和3年度国民健康保険病院事業会計補正予算
- 議案第13号 令和3年度水道事業特別会計補正予算
- 議案第14号 令和3年度下水道事業特別会計補正予算
- 議案第15号 令和3年度介護保険事業特別会計補正予算

※ ○ は原案可決



令和4年度から始まる第8期総合計画



議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。

議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、6月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申し上げております。

ここが聞きたい、
知りたい

私たちの一般質問

第1回定例会は、町長及び教育長が令和4年度における町政執行方針及び教育行政執行方針をそれぞれ表明。6議員が一般質問を行いました。

細谷久雄議員



質問

災害避難時におけるペットの救護対策について

現在、日本は子どものいる家庭よりペットを飼育している家庭のほうが多くなっています。

単なるペットという位置づけを超えて、家族や友人の一員としての伴侶動物として飼い主が心豊かな生活を送るうえで欠かせない存在になってきています。

しかしながら、過去の災害の際に避難所や仮設住宅によつては、ペットの受け入れ態勢がなく飼い主が受け入れを断られたり、避難所にペットを連れて行けないと避難自体を諦めた事例も生じています。

そこで、中頓別町のペットの災害時への取り組みと今後について伺います。

答弁 ○小林町長

災害避難時にあたつては、飼い主の責任による同行避難が望ましく、中頓別町地域防災計画の家庭動物等対策計画において同行避難を掲げるところです。

被災者を含めてですが避難場所をどのようにするか今後の課題であると考えており、当初予算に計上させていただきました「中頓別町防災センター基本構想策定業務委託」にて、ペットの避難も含めて検討させて頂きたいと考えております。

これらの基本的かつ具体的な方針が策定された段階で飼い主の啓発及び被災時への取り組みを示しご意見を賜りたいと考えます。

東海林繁幸議員



質問

町危険廃屋解体撤去助成条例の見直しについて

平成25年制定したこの条例は、廃棄物処理制度の改正などにより、処理単価の高騰などから現状の解体経費と合わない実態となっている。町として実態を調べ見直す必要があると思うがいかがですか。

答弁 ○小林町長

施工当初から補助金限度額を50万円とし、これまで39件に助成してきた。

当初の解体経費は現在1.4倍となっている。今後この制度が利用しやすくなるため見直しについて検討する。

町の解体経費は現状3万9千円としている。(1㎡)

再質問

町は100㎡390万円も支払うのに、町民には実態として100㎡200万円とされているものにも50万円を限度としているのは大変不合理である。急ぎ改正すべきと思うが。

答弁 ○小林町長

早急に見直しを検討する。

質問

町の除排雪について

①きれいに除排雪したすぐ跡に歩車道に雪を捨てていく状況がある。歩行者、車両の通行

を無視した嘆かわしい行為です。この行為を町として罰則する規定や、この行為を調査し直接注意することはできないか。

②高齢者世帯、障がい者世帯に対する除雪サービス事業は道内各市町村や社会福祉協議会が実施している。（非課税世帯に限定なく）

本町として検討できないか。

③町道の除排雪について、順路は交通量、通学路を優先すべき、適切を欠いていないか。

答 弁 ○小林町長

①今、除排雪は民間委託している。直営と変わらない水準としているが、大雪の時など時間を要している実態がありご不便を掛けているのも承知しているが、指摘あった行為については法律に違反する場合もあり非常識な行為をしないよう周知していく。

②高齢者、障がい者世帯への除排雪サービス事業は道内各市町村や社会福祉協議会に委託し実施しているが、除雪に関する相談、意見が多く寄せられている。

町として検討する必要を認識している。各市町村の対応も調査し関係者と検討したい。

③委託業者との連携を十分にし適切な除排雪順路を指導する。

質 問

高齢者、障がい者に対する「介護サポート」について

この件については以前にも一般質問をし「介護認定」されていない方を対象とした制度の制定を質問し、検討するとの答えでしたがどうなりました。

答 弁 ○小林町長

介護保険によるサービスを受けられない高齢者などが生活に必要なサービスを受けられる仕組みを調査してきた。この1月から試験的な行動も実施している。

新年度から本格的な事業実施に向けて検討している。行政主導でなく町民の協力を得た仕組みを目指している。

高橋憲一 議員



質 問

新たに設置予定の学校について

町長、教育長の執行方針でも述べられています。令和7年度着工予定の新しい学校について、従来型の小・中学校を併設したものなのか、文部科学省が2016年から制度化した「義務教育学校」と言われるものなのか。

現時点でどのような形を想定していますか。

答 弁 ○小林町長

現在、中頓別中学校の老朽化による建て替えと合わせて新しい学校づくりを検討するためにワークショップ等の取り組みを行い、今年度中を目途に基本構想策定を進めているところです。

現時点としまして、中頓別小学校周辺を教育エリアと位置付けて小学校、町民センターの既存施設を活用しながら増改築を行い、義務教育学校（1年生から9年生までの一貫教育を行う学校）を設置し、認定こども園を含めて幼小中連携による一体的な教育を進めていく仕組みを構築していく考えであります。

今後におきましては、上記の内容を整理して基本構想に位置付けて合意形成を図っていく考えであり、合わせて令和4年度中により具体的な基本計画

を策定する予定としております。

宮崎泰宗 議員



質 問

第6波の到来と町内感染への対応、感染対策の状況や今後について

新型コロナウイルスの感染状況において、過去最大の感染拡大となる第6波が到来する中、中頓別町では初めての町内感染となる事例が発生し、町保健福祉課で町内4例目となる感染者が確認された2月11日からの約1週間、10名ほどの感染が確認されたことから、その後の状況等について伺う。

感染確認の翌日も保健センターではワクチンの集団接種が実施され、前日に感染者が確認された施設ということを知り不安を感じた方も多かったと思うが、接種の場所を変更するなどの対

応を取ることはできなかったのか。まん延防止等重点措置が適用されている中で起きたこともあり、今回の感染の経緯なども含め、感染経路においても防げるものはなかったのか。

また、現在は3回目のワクチン接種が進められており、中頓別町では当初3回目もこれまでと同様に全てファイザー製のワクチンで実施されるのとことであつたが、今回は一部モデルナ製のワクチンが使用されていると聞いており、これまでの状況や今後のワクチン接種の実施体制についても伺う。

答 弁 ○小林町長

2月に町内で新型コロナウイルスに感染した方は11名だが、2月20日以降は感染が確認されておらず、感染者は軽症または無症状で全員が自宅療養を行い、入院を要した方はいなかった。町は自宅待機者支援事業に取り組み、感染者や濃厚接触者に衛生用品や食料品などの配布を行ってきた他、個別の困りごと等の相談を受けている。ワクチンの接種会場については、場所の変更には対応できず、不安のすべてを払拭できたとは考えていないが、万全の対策を講じ、予定通り保健センターで実施することとした。

感染経路は町として把握できていないが、防ぐことができたケースもあると考えており、対策を強化徹底してい

るところである。

3回目の実施となったワクチン接種では、ファイザー製に加えモデルナ製のワクチンについても国から各市町村に供給されたことから、今後の見通しは不確定と判断し一部モデルナ製のワクチンを使用しているが、結果的にファイザー製のワクチンも残ることになるので、希望してくる町民に無駄なく接種できるよう調整を図っていきたいと考えている。



質 問

職員数の大幅な増加について

今定例会では、中頓別町職員定数条例の一部改正が提案され、町長部局の職員数を現行の80名から23名増の10

3名とする内容となっているが、職員定数については、平成30年の改正時にも町長部局の定数を70名から80名に、教育委員会の職員定数を15名から17名に、全体で12名増やしており、今回の改正と合わせると35名の増となる。前回改正時の主な理由としては、新規の採用で若手の職員が増えたことによる経験不足を補うために再任用職員を増やすためであり、一時的に重複させる必要はあるが、むやみに職員を増やすものではないとのことだった。4年近く経過し重複が解消できる部分もあると思うが、どのような状況か。

この先行きの見えないコロナ禍において、物価の上昇などによる生活負担も大きくなっている中、職員数をさらに増やすということは、町民にとって最も大きな負担の増となり、人口減少や町の衰退に再度逆行することになると思うが、今回定数をさらに増やすことによる人件費の財政負担はどのような変化していくのか。今後の財政状況への影響についても伺う。

答 弁 ○小林町長

23名増員のうち医療・福祉係で14名、自動車学校専門職で4名、特任的業務で5名となっており、医療系職員は介護医療院設置に向けて異動調整、新規採用を今後行う予定、福祉係では地域包括支援センターと子育て世代包括支

援センターの専門職を増員し機能の強化を図るものであり、助産師の採用見通しは立っているが、他の専門職の採用については今後行っていく予定である。自動車学校の専門職については、既存の会計年度任用職員の退職に合わせ採用を行っていく。特任的業務については、退職者及び新規採用者の調整の中で配置を検討することになるが、直ぐには配置が難しい状況であり、定数条例改正後に途中採用を検討する必要があると考える。

現在の職員の状況は、行政経験10年未満の者と26年以上の者とで2極化しており、特に近年の情勢により経験年数の浅い職員における退職（転職）者が増加していて、再任用職員による支援により業務が遂行できている状況にある。この状況は、今後5年ほどは変わらないと考えられる。

人件費の負担は令和7年度まで増加し、デジタルトランスフォーメーションによるデジタル化の推進により、それ以降は減少傾向に向かうものと想定しているが、令和4年度以降に定年年齢引上げに伴い大きな給与改定が行われることとなっており、財政負担を考慮しながら人員配置を検討していきたいと考えている。

長谷川 克弘 議員



質問

第8期総合計画と7つのアクション

町政執行方針でも述べられている、7つのアクションの具現化について伺います。

策定段階で同時に進められてきた7つのアクションですが、積極的に関わっていただいた町民の多くは今後、新年度に向けてどのような展開となるのか、不安や疑問を感じているのではないかと思います。そこで、今後における具現化の道筋及び支援のあり方について伺う。

答 弁 ○小林町長

令和3年度は、町民アイデア実現の第一歩として、その実現方法を検討する作業を7つのアイデアとなる各チームにて検討をしていただいております。昨年8月27日から9月30日までの緊急事態宣言期間中における会議開催等の時間帯を制限したことで、10月以降は計画本体の事務作業にその役割を傾注する状況となり、担当職員からの各チームへのミーティング日程調整がスムーズに至らない事があつたりと、反省するべき点がありました。

令和4年からは町民アイデアの実現に向けて、改めて工夫を加えながらチーム個別の状況に合わせて、伴走する丁寧な支援体制を整えて、7つのアクションとしてしっかり実現できるよう推進します。

質問

社会教育について

昨年度に続き新型コロナウイルス感染症対策による、文化、芸術、スポーツといった各団体が今年度、活動を自粛や休止を余儀なくされております。やりたいことを我慢しなければならぬ、そういったジレンマを抱えたことが3年目となり私どもが携わるスポーツ振興についても地団駄を踏むような思い

であります。

そこで、社会教育について教育長にお伺いします。教育委員会も町民センターへの事務所移転により効率化が期待されるものではあります。技術的指導又は助言を与える職員の技力量に経験不足を感じていますが、新年度において社会教育の推進について伺う。

答 弁 ○相座教育長

教育委員会では残念ながら、経験を持った社会教育主事が退職し、まだ経験の浅い社会教育主事が担わなければならない現状です。したがって、実務経験を積みながら中頓別町での課題に即した社会教育を充実させていくには、まだ時間を要すると言わざるを得ない実態をまずお詫び申し上げます。

ご指摘の「社会教育を担うものに対する助言・指導」については、今後職務を確実に遂行しながら経験を積み、力量向上を図っていけるよう、これまで以上に教育委員会内部での指導や支援に取り組みます。

社会教育は「共生社会」実現のための実践的取り組みでもあると考えておりますので、町民の皆様とともに社会教育の充実を図っていこうと思っております。ですのでよろしくお願いいたします。

質問

コミュニティスクールの今後について

私たちが地域住民にとって、我が町のランドマークともいえる各学校ですが、新型コロナウイルス感染症の蔓延ということもあり、地域住民としてとても閉鎖的に思っております。教職員と住民との接点さえ見いだせないと感じております。

そこで、「組織と運営を見直し新たな学校運営協議会をスタート」するとおっしゃっておりますので、どのように進めるおつもりか伺う。

答 弁 ○相座教育長

コミュニティスクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協議しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みとして、町では平成28年に条例を定めたところであります。

地域が学校に関わる仕組みとして現在、「学校運営協議会」が学校運営への意見反映「学校支援地域本部」が学校を支援する二つの事業があります。本来この二つの仕組みが有機的に作用することで「地域の中の学校」として運営されていくこととなりますが、現

質疑・質問は 要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

在这両事業が有機的に十分作用しているとは言えない状況があります。現在、認定こども園、小学校、中学校と各校に一つずつ設置している学校運営協議会を一本化し新しい学校づくりに合わせ、両事業が円滑に運営され町の文化・スポーツ事業の核となり地域と学校の課題を相互に伝え、協議しながら多様な学びに対応し、子供たちの労力向上が一層進む「地域の学校」となるよう検討しています。

星川 三喜男 議員



質問

町長の任期中について

町長の任期もあと1年となりましたが、任期中の3年間を振り返ってみて、予定されていた事業等は計画通りに進められましたか。

計画通りに進められなかったとしたら反省点は何でしょうか。

また、残り1年の任期中の重点目標など何を目指しますか。

答 弁 ○小林町長

町政2期目のスタートにあたり、子ども子育て支援、教育、医療、介護など10の重点的な柱を掲げ、そのほかにも7項目について取り組んでいくことを表明しました。私なりに取り組んで

きたつもりですが、予定どおりに進んでいなかったり、ある程度想定していた結果が得られていないものもあると認識しています。これらの要因として、自身のリーダーシップが発揮しきれなかった点や、十分な職員体制を準備してあげられなかった点を反省しなければならぬと考えています。

残る1年は新たな総合計画に基づき着実に施策を進めていきたいと考えています。医療と介護の新たな体制づくりと、「新しい学校づくり」が最重要課題です。地方創生の3ヶ年プロジェクトでも第3弾として「コモンズ形成事業」、新たな健康づくり推進計画の策定にも着手していきたいと考えています。

質問

認定こども園の園庭整備について

昨年11月に実施した、いきいきふるさと常任委員会の所管事務調査では、令和4年度の当初予算で事業費約2億7千万円と大変高額な予算を計上すると伺っていましたが、予算計上がされていますか。

当初予算に計上されていない理由をお伺いします。

答 弁 ○小林町長

昨年11月30日行われました、いきいきふるさと常任委員会では「認定こども園遊具設置設計業務概算工事費」について報告させていただきました、今後精査を行っていく旨説明させていただきました。

現在、業者から最終案が届いていない状況であり、本来であれば当初予算に計上すべきところでしたが、新年度補正予算として改めて計上させていただくように準備を進めていきたいと考えています。ご理解のほどよろしくお願いたします。



いきいきふるさと常任委員会（宮崎泰宗委員長）は、所管事務調査を実施し、第1回定例会（3月14日）に報告しました。



いきいきふるさと常任委員会の様子
(2月10日)

いきいきふるさと

常任委員会報告

(2月10日)

調査事項

中頓別町総合計画について



審査意見

第8期中頓別町総合計画は電子媒体による動画も閲覧できるようになっているので、高齢者など電子機器に慣れていない住民に対しても総合計画が十分に理解され、伝わるような工夫を望むものである。

全員協議会（3月9日）

職員定数条例について、第1回定例会に条例改正議案として提出され、内容の詳細を確認する必要があることから全議員で構成する全員協議会を開催しました。



全員協議会の様子（3月9日）

議決審議のあらまし

第1回定例会では、新年度予算など22議案を審議しました。

令和4年度各会計予算は、予算審査特別委員会（星川三喜男委員長）に付託して審査され、全会計原案どおり可決しました。

令和3年度各会計補正予算とその他の条例改正案等は本会議で審議され、すべて原案どおり可決しました。

3月14日議決

○議案第2号 職員定数条例（一部改正）

町長部局の職員定数を80名から23名増の103名に変更を行うもの。

○議案第3号 奨学金等償還支援条例（一部改正）

現行第6条の条例番号が未記載のため、追記するもの。
別記様式の押印省略について、地方公共団体における押印見直しマニュアルが示され、それに準じ、関係する条例を改正するもの。

○議案第4号 職員の服務の宣誓に関する条例（一部改正）

職員の服務の宣誓に関する政令の一部を改正する政令が令和3年4月1日より施行されたことに基づき、条例を改正するもの。

別記様式の押印省略について、地方公共団体における押印見直しマニュアルが示され、それに準じ、関係する条例を改正するもの。

○議案第5号 職員給与条例（一部改正）

令和3年8月10日に勧告された人事院勧告を受けて、給与改定等のための関係条例の改正をするもの。

○議案第6号 議会の議員報酬額及び費用弁償並びにその支給に関する条例（一部改正）

令和3年8月10日に勧告された人事院勧告を受けて、職員給与条例を改正するにあたり、議会の議員の期末手当の率も改正するもの。

○議案第7号 放課後等デイサービス事業所設置条例（廃止）

現在、就学前の子どもを対象に、関係機関と連携を図りながら、個々の発達課題に対して指導や交流を図る体制がつくられてきています。今後この体制を継続することで適切

な支援ができるため廃止するもの。

○議案第8号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

上頓別、岩手、小頓別、秋田辺地に係る公共的施設の総合整備計画を変更するもの。

○議案第9号 第8期中頓別町総合計画を定めること

中頓別町自治基本条例に則り、誰もが住んでよかった、いつまでも住み続けることのできるまちづくりのため、第8期中頓別町総合計画は、さらに町政を総合的かつ計画的に推進するとともに、あたたかな、安心して、充実した暮らしのある、豊かさを実感するために定めるもの。

○議案第10号 令和3年度一般会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ9千973万円を追加し、予算の総額は41億1千643万円に。

決算見込に基づく追加、減額のほか、国保病院に対する繰入金6千734万円を追加して総額3億8千292万円に。基金費では、地域活性化基金費に1億3千78万円、公共施設整備等基金費に5千2万円、地方創生基金費に5千1万円をそれぞれ

れ積み立て、基金費積み立て総額を2億4千403万円とするもの。

○議案第11号 令和3年度自動車学校事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ209万円を追加し、予算の総額は5千670万円に。

歳出では、決算見込に基づく追加、減額。歳入では、教習生の減により授業料を減額して、総額2千529万円とするもの。

○議案第12号 令和3年度国民健康保険病院事業会計補正予算

病院事業収益は、収入で入院・外来収益合わせて1億1千686万円を減額。一般会計繰入金として6千646万円を追加し、繰入金総額3億7千17万円に。予算総額は5億9千263万円に。支出は、決算見込に基づく追加、減額するもの。

○議案第13号 令和3年度水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ901万円を減額し、予算の総額は1億580万円に。
決算見込に基づき追加、減額するもの。



職員定数条例改正で職員の増加が見込まれる

議案第14号 令和3年度下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ1千307万円を減額し、予算の総額は1億5千903万円に。
決算見込に基づき、委託料、工事請負費等を減額するもの。

議案第15号 令和3年度介護保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ437万円を減額し、予算の総額は2億2千219万円に。
決算見込みに基づき、主に保険給付費を減額するもの。

議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて思いを綴るものです。

『バックナンバーを読み返し ながら今に思うこと』

中頓別町議会の議員定数は8名、議会だよりは年4回、一期4年という任期の中で2年に一度この議員だよりを書く機会があります。

思い返せば2年前の4月発行号で私の思いを綴ったときにも、新型コロナウイルス感染症に触れていました。

遡ることさらに2年前、およそ4年前の平成30年7月に掲載されたコラムでは、前回増員された職員定数に関する内容でした。どちらも今定例会で一般質問を行った内容と重なり、コラムの順序が回ってくるというのも、奇遇なものだなと感じます。

国全体の医療機関の再編問題から、中頓別町では病院と介護医療院の併設という道を選んだことによる介護職員の採用、自動車学校存続のための指導員の定数化、必要な増員と考えるところもありますが、一般職や保健福祉の分野に強化を言い出したらキリがありません。最小の経費で最大の効果を求められる行政にとつては、選択と集中による人員の抑制が最大の経費削減であり、事業が整理されず増えていくだけでは目先が変わるばかりで、効果も見えづらくなる一方です。管内でも自治体の規模に対して、その辺をかなり辛抱しているところもあるように思います。

新型コロナウイルスについては、感染が拡大し始めた当時の3月定例会から一般質問でもコロナ中心の内容となり、日々刻々と変化する状況への対応を毎回伺うこと、今回で9回目となりました。

あれから世界は、この地球上の社会は一変してしまいました。コロナ前とコロナ後で議会だよりに写る写真も、そのほとんどが急にマスク姿となり、今もあらゆる面で影響が続いているなど、振り返りながら改めて感じています。

今回は2月に中頓別町内では初めて感染が広がる事態となったことへの対応などを伺い、感染を防げた可能性のある経路など、今後に活かされることが色々とあったように感じましたが、ワクチンを接種していることなどから、新型コロナウイルスをインフルエンザのように捉えようとする風潮や考え方も、国や保健所の対応など、行政から広がっているように思います。まん延防止等重点措置の解除が決まった瞬間、解除前の連休などから緩んだ行動が極端に増え、すぐに感染も増加傾向に転ずる中、3月末に再度町内でも感染が広がる状況となりました。重症化しづらくなっているとの見方もありますが、軽症等でも後遺症が残るなど、インフルエンザなどとの違いはまだまだ大きいと思いますので、感染が終息、または収束するその日まで、どうかお気を付けて

(綴人 宮崎 泰宗)

ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから **中頓別町について** ⇒ **中頓別町議会**
又は **行政情報** ⇒ **議会** へ進みご覧ください。

議会はみなさんの暮らし、福祉などの身近な問題を議論する大切な会議です。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel6-2244（議会事務局）へ。

令和4年度 8会計予算成立

～総額60億3,328万円～



予算審査特別委員会（星川三喜男委員長）

一般会計をはじめとする令和4年度8会計予算案は、全議員で構成する「予算審査特別委員会」（星川三喜男委員長）に審査を付託。
特別委員会では、3月16日～17日に審査を行い、原案可決。
17日、再開された本会議で星川委員長から報告され、審議の結果、委員長報告のとおりすべて原案可決されました。

令和4年度予算編成内容

本年度の予算総額は、60億3,328万円で前年度比7億5,683万円（14.3%）の増額となりました。一般会計は、前年度比3億8,340万円（9.8%）の増額であります。

歳入では、大半を占める地方交付税は町債借入れの増加に伴う公債費の増などを踏まえ、前年度比1億2,146万円の増額としています。国庫支出金では、地域再エネ導入戦略策定支援事業補助金の計上などにより、9,143万円の増額、繰入金では、公債費の増加に伴う長寿園施設改修拡張事業基金などの繰入金の増により2,970万円の増額、町債では、過疎対策事業債の増や緊急自然災害防止対策事業債の計上などにより2億2,518万円の増額となっています。

歳出では、退職などによる職員の減により617万円減額、物件費では、庁内ネットワーク強靱化を図る仮想化基盤サーバー等の機器更新などにより4,412万円増額となりました。繰出金では、主に水道事業で増額計上となり、1億4,759万円の増額となりました。

財政健全化に向け努力しておりますが、近年、町債の借入れが増加傾向にあるとともに、収入の多くを占める地方交付税については依然不透明な部分が多く、今後も財源確保が困難になることが予想されます。予算執行にあたっては行政サービスを低下させることなく、効率の追求などを行いながら収支均衡に向け最大限努力してまいります。

■各会計予算の状況

（単位：万円）

年 度 別 会 計 別		令和4年度 予 算 額	平成3年度 予 算 額	比 較	
				金 額	率%
一 般 会 計		42 億 7,616	38 億 9,276	3 億 8,340	9.0
自動車学校事業特別会計		5,424	5,271	153	2.8
国民健康保険事業特別会計		1 億 9,688	2 億 1,246	▲1,558	▲7.9
国民健康保険 病院事業会計	収益的収支	5 億 6,857	5 億 7,106	▲249	▲0.4
	資本的収支	2,463	1,426	1,037	42.1
水 道 事 業 特 別 会 計		4 億 4,649	1 億 1,263	3 億 3,386	74.8
下 水 道 事 業 特 別 会 計		2 億 1,734	1 億 7,180	4,554	21.0
介 護 保 険 事 業 特 別 会 計		2 億 1,489	2 億 1,572	▲83	▲0.4
後期高齢者医療事業特別会計		3,408	3,305	103	3.0
合 計		60 億 3,328	52 億 7,645	7 億 5,683	12.5

■一般会計

歳 入

(単位：万円)

款	4年度	3年度	比 較	増減%
町 税	16,453	16,486	▲33	▲0.2
地 方 譲 与 税	6,397	6,051	346	5.4
地 方 交 付 税	214,493	202,347	12,146	5.7
使用料手数料	8,529	8,466	63	0.7
国 庫 支 出 金	56,764	47,621	9,143	16.1
道 支 出 金	15,393	24,940	▲9,547	▲62.0
財 産 収 入	1,014	947	67	6.6
繰 入 金	28,591	25,621	2,970	10.4
諸 収 入	5,412	4,931	481	8.9
町 債	69,056	46,538	22,518	32.6
そ の 他	5,514	5,328	186	3.4
合 計	427,616	389,276	38,340	9.0

歳 出

(単位：万円)

款	4年度	3年度	比 較	増減%
議 会 費	4,997	5,035	▲38	▲0.8
総 務 費	86,002	77,115	8,887	10.3
民 生 費	44,197	42,157	2,040	4.6
衛 生 費	42,838	42,299	539	1.3
労 働 費	6	6	0	0
農 林 水 産 業 費	33,722	42,592	▲8,870	▲26.3
商 工 費	11,900	13,852	▲1,952	▲16.4
土 木 費	78,587	60,224	18,363	23.4
消 防 費	13,951	13,629	322	2.3
教 育 費	25,645	27,443	▲1,798	▲7.0
公 債 費	50,378	44,440	5,938	11.8
諸 支 出 金	35,343	20,184	15,159	42.9
そ の 他	50	300	▲250	▲500.0
合 計	427,616	389,276	38,340	9.0

予算計上された主な臨時事業

(単位：万円)

科目・会計	臨時事業名	事業費	主な事業内容
総 務 費	くらしごと窓口推進事業	1,185	無料職業紹介所運営、特定地域づくり事業協同組合運営など
	コモンズ形成事業	1,886	地方創生推進事業（推進協議会運営、共助の仕組み構築など）
	地方創生臨時交付金事業	5,553	感染症対策、経済対策
農 林 水 産 業 費	道営草地整備型公共牧場整備事業	11,642	参加者負担金
商 工 費	ピンネシリ温泉運営事業	2,421	指定管理料、施設維持管理委託料
	なかとんべつ観光まちづくりビューロー運営事業	1,910	なかとんべつ観光まちづくりビューロー事業補助、地域おこし協力隊
土 木 費	除排雪事業	15,322	詰所建替工事、ロータリー除雪1台更新、除排雪業務委託など
	中頓別弥生線交付金事業	36,940	一己内橋の架換負担金
	秋田原野線交付金事業	14,000	延長200m、幅員5.5m
水道事業会計	簡易水道等施設整備費	35,000	中頓別浄水場機械設備・電気設備更新工事

予算審査特別委員会 主な質疑&答弁

○一般会計

歳出

■総務費

問 新エネルギー導入事業について伺います。以前、町長は農協青年部との講座の時にバイオマスエネルギーについては難しいような話をしていたと思いますけど、その後の経過を聞きたい。

(高橋委員)

答 平成29年度と平成30年度にバイオマスの導入に関する調査をし、その結果、送電網などに課題があり、事業化までに結びつかなかった経緯があります。その後、課題解消の可能性が出てきましたので予算計上させていただいています。

(笹原総務課参事)

問 宮下定住促進団地造成工事1千400万円とあります。これは何戸分ですか。販売目的で造成すると思いますが、いくらで売れますか。

(東海林委員)

答 5区画で、一区画75万円で全体で375万円で売る予定です。

(土屋建設課長)

問 コモンズ形成事業について、説明の中にありました共助の精神が元になっている気がします。以前から小さな町だから住民も協力し合っている中で、改めて新しい事業が出てきたのはどういうことなのか町民目線で説明してもらいたい。

(西浦委員)

答 地方創生の新しい取り組みとなります。これまで実施してきたシェアリング事業や働き方改革をさらに拡大し、フォロー

しきれていなかったところに必要な支援をしていきたい。(笹原総務課参事)

問 移住定住の中の備品購入費の一眼レフカメラ53万円があります。移住定住で使うためにそこまで高価なものが必要なのか。

(長谷川委員)

答 移住に向けた新しいサイトの立ち上げを行ったり、インスタグラムを始めとするSNSでの情報発信も行っております。その中で必要な写真を集めるにあたって今は広報のカメラを借りながら撮ったりもしていましたが取材と被ったりしましたので、今回計上させていただいています。

(笹原総務課参事)

問 コモンズ形成事業の意味合いとしてはシェアリングとそんなに大きく変わらない部分もあると思います。新年度予算としては1千800万円その内委託料が1千500万円で、どのような取り組みになるのか伺います。

(宮崎委員)

答 今年度から始まる新たな事業として3か年で考えています。初年度は、事業の組み立て、今後の進め方について考えています。その後は支援を実施する段階に移行していく想定をしています。

(笹原総務課参事)

■民生費

問 地域生活サポート事業は新しい事業でもあるし、本来制度の内容をわかるような説明資料配るべきだと思いますがいかがでしょうか。

(東海林委員)

答 地域生活サポート事業については、要綱等を整備しまして作成しているところ

でありますので出来次第、配布したいと思えます。(相馬保健福祉課長)

問 老人福祉事業の中で、予算化されていませんけど、先日の補正予算でも出されたとおり南宗谷福祉会の運営補助金です。当初予算の段階で南宗谷福祉会からアプローチはなかったのか。(星川委員長)

答 町として新年度予算につきましては、当初の段階で施設の収支に対する赤字補填はしないことで施設側にも伝えております。ただ、介護職員、看護職員など職員が不足することによる経費、派遣看護師を採用する経費は計上させていただいています。

(相馬保健福祉課長)

■衛生費

問 新型コロナウイルスワクチン接種事業ですが、対象が3回目ワクチンと私は抑え方をしていますが、しかし、国や道は4回目ワクチンを想定しています。町は4回目ワクチンをどのように対応しますか。

(東海林委員)

答 4回目の接種に関しては、今報道等では言われていますが、実際には予防接種の制度が改正してから改めて正式に降りてくることになります。いずれにしても4回目あるかもしれないことで準備は進めておきたいと考えております。

(山田保健福祉課参事)

■農林水産業費

問 ミルクプラント運営事業については開設されてから5、6年経つと思いますけど、これだけの予算計上されていますが現状の製品の売り上げ効果がどれだけ出

ているか。また、これから将来性あるのか含めて伺います。(西浦委員)

【答】

この2年ほど正直言うところ、飲料乳のみの製造でありまして、アイスやソフトクリームミックスについては、コロナの影響で観光客が来ないことで製造していない状況です。飲料乳は町内が主体となっておりまして、売り上げ的にも厳しいものがありますが、今後に向けて製造体制の安定化もありまして、町内町外に向けて販売先を拡大できないかを考えているところでございます。決算ベースで800万円ぐらいです。(平中産業課長)

【問】

■商工費

ピンネシリ温泉運営事業について、観光まちづくりビューローを作った当時、私も期待しました。中頓別町の観光資源を総括的に有効活用できるようなことで作った。今度は料理人が辞めるので、もう料理は出せませんで福祉施設と言えますか。ダメになったからそこは辞めていくのは行政姿勢として後退している。こんなことで本来期待していたまちづくりビューローの役割果たしていないのではないですか。これが出来て何か良くなりましたか。(東海林委員)

【答】

温泉につきましては、令和元年度からビューローが運営を開始しまして観光利用の向上も含めて進めていくことで、いろいろ事業をしてきました。観光向けアプローチで料理を見直しまして、これまでは工事関係者の利用が多かったことがございまして、新たに観光の利用を増や

す見直しをしました。観光利用のお客さんが増えなかったことで改めて工事関係者を受け入れる中で事業を展開して進めてきたところがありました。支配人も令和元年度に変わりました。努力はしていただきましたが、上手く経営ができなかったところ。最初に描いたとおり。いかず、施設の改修計画も検討してきた中、運営に弾みがつかないところで次のステップに進めていない現状は非常に心苦しい状況でありました。(永田産業課参事)

■土木費

【問】

除雪費で除雪出動モニタリングシステム設置工事825万円を設置することによってどれだけ効率化になって除雪費が圧縮されるのか。(長谷川委員)

【答】

現在、除雪費委託料の雪道巡回として120日を見込んでおり約310万円を計上しております。それをすべて無くすわけではありませんが、システムで対応可能分は減額していきたいと考えています。(土屋建設課長)

【答】

除雪出動モニタリングシステムですが、一年中稼働していますので、夏場川の近くを見れるような場所、洪水のチェックもできて雪の降り方もチェックできるような場所を考えています。(北村建設課主幹)

予算審査特別委員会

【審査意見】

1. 新規事業など委託するときについては、企画書等を提示してから審査することが望ましいので、今後においては町の基本構想を示してから審査することを求める。
2. 世界情勢など激変があった時の対応を見極めて予算執行をすることを求める。

第1回臨時会結果 (2月1日)

令和4年第1回臨時会が2月1日招集され、行政報告の他2承認、1議案を原案どおり承認及び可決しました。

○承認第1号 専決処分の承認(一般会計補正予算 令和3年12月16日専決)

歳入歳出に1千255万円を追加し、総額39億8千86万円に。子育て世帯への臨時特別給付金などを追加するもの。

○承認第2号 専決処分の承認(自動車学校事業特別会計 補正予算 令和4年1月17日専決)

歳入歳出に96万円を追加し、総額5千460万円に。タイヤショベルリース料を追加するもの。

○議案第1号 一般会計補正予算

歳入歳出に3千584万円を追加し、総額40億1千670万円に。住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金を追加するもの。

議会の動き

令和4年

2月

- 1日 第1回臨時会
10日 いきいきふるさと常任委員会
22日 議会運営委員会
25日 議会運営委員会

3月

- 9日 全員協議会
14日 第1回定例会（補正予算、条例等）
15日 第1回定例会（執行方針、一般質問）
16日 予算審査特別委員会
17日 予算審査特別委員会、第1回定例会
18日 南宗谷消防組合議会（枝幸町）
南宗谷衛生施設組合議会（浜頓別町）

4月

- 1日 自治記念式
8日 議会広報編集特別委員会
15日 議会広報編集特別委員会
18日 宗谷町村議会議長会定期総会（稚内市）



第1回臨時会の様子（2月1日）

議員の活動実績と一般質問回数

（令和3年4月～令和4年3月）

議員名	定例会・臨時会		各種委員会		一般質問回数
	出席義務日数	出席日数	出席義務日数	出席日数	
高橋 憲一	9	9	19	18	3
長谷川 克弘	9	9	28	27	1
西浦 岩雄	9	9	20	20	1
宮崎 泰宗	9	9	20	20	4
東海林 繁幸	9	9	11	11	2
星川 三喜男	9	9	11	11	3
細谷 久雄	9	9	28	28	4
村山 義明	9	9	20	20	-

（注1）議員名は議席番号順（7番目が副議長、末尾が議長）

（注2）各種委員会は、議会運営委員会、常任委員会、議会広報編集特別委員会、決算審査特別委員会、予算審査特別委員会等を指します。

（注3）一般質問は、定例会（年4回）で行われます。

（注4）一部事務組合議会議員（東海林議員、長谷川議員、宮崎議員、高橋議員）の日数は含まれていません。

発行 中頓別町議会
編集 議会広報編集特別委員会
お問合せ ☎098-5595
北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6
tel (01634) 6-2244（直通）
fax (01634) 6-1155

編集後記

いつも議会だよりをご覧いただき大変ありがとうございます。広報編集特別委員会一同、町民の皆様へ議会活動を知って頂くために、わかりやすく、読みやすい紙面の編集に取り組んでいきますので、一読下さることを切に願っております。

新型コロナウイルス感染症のまん延が依然続いており早3年が過ぎてしまいました。私たちの生活も何かと不自由で我慢を強いられており、楽しみの機会すら失われております。マスク着用・手洗い消毒・うがいなどが日々のルーティーンとなり、とても衛生的になりインフルエンザの流行は完全に押さえ込めた感じはありますが、新型コロナウイルスは形を変え、まだ終息は一向に見えませんが、まん延防止重点措置が解除された3月21日以降においても、町内から陽性者が出るなど今までも同様、予断を許さない状況となっております。感染症とは関係なく季節は常に進んでおり、ここ中頓別にも遅い春が訪れようとしています。雪融けが進み、ねこやなぎが芽を吹き、春の息吹を感じられるようになってきました。

桜前線も北上を始めております。令和4年度がスタートするに当たり、平常の暮らしを一日でも早く取り戻せることを切に願ってやみません。

議会広報編集特別委員会（長）